

教科名	地歴	科目	日本史選択(特進)	週授業時間	4
-----	----	----	-----------	-------	---

1. 教科書および副教材・参考書

- 教科書 : 『詳説日本史 B』(山川出版社)
 参考書 : 『日本史 B 用語集』(山川出版社)
 図説 : 『詳説 日本史図録』(山川出版社)

2. 授業の目標および内容

日本史選択の授業は、2年生時の学習に引き続き織豊政権から第二次世界大戦後の日本社会までを扱う予定です。授業形式として、扱う内容が多いためプリントを使用した書き込み学習を主とします。

大学受験の学年ということで、日本大学への基礎学力試験は勿論、難関大の入試問題を突破できる知識や思考力を身に付け、生徒自身が考え答えを導き出すことができる体系的な学力を身に付けることが目標となります。

したがって、積極的に応用的な知識事項を扱いながら、知識同士がどのようにつながりを持つか、歴史的な因果関係はどのようなものであるかを常に意識させながら、我が国の歴史を大局的に捉え、国際社会でも日本を背負って立つ国際人としての基盤を身に付けることを目指します。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 10 月	二次 12 月	
学力試験	第 1 回 6 月		第 2 回 9 月		

内容・難易度について

- ①定期試験：100 点満点で出題します。範囲はその都度指示します。学んだ内容に関連する初見の史料問題や記述・論述問題なども出題し、学習内容の習熟度を確認します。
 ②学力試験：選択・演習の範囲それぞれ 50 点分出題します。

4. 課題・補習について

受験体制のため課題はありません。受験生という自覚を持ち学習がなされることを期待しますが、必要に応じて指示する場合があります。

5. 評価の観点

授業態度や提出物等を勘案して評価します。

年間授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	第6章 幕藩体制の確立 第7章 幕藩体制の展開 第8章 幕藩体制の動揺	幕藩体制の成立 幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展 幕政の改革 幕府の衰退	応仁の乱後のいわゆる戦国時代がどのように終息し江戸幕府が成立したのかをはじめとして、常に幕府の課題となり続けた飢饉やそれに関連する財政問題などに対しどう向き合ったのか、ペリー来航によって江戸社会がどのように変化していったのかを基軸として、時代や為政者ごとの政治の特徴や社会の変化を中心に学習する。
2	近代国家の成立 二つの世界大戦とアジア	開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 日清戦争と日露戦争 第一次世界大戦 恐慌と軍部の台頭 第二次世界大戦	明治政府の近代国家政策がどのように展開されていったのかを、諸外国とのつながり強く意識しながら学習する。 また、日清・日露戦争などを通じて植民地政策とそれに付随して展開されていく日本の軍国主義化の過程を学習します。